

座り込みでも のりだすも のりだすも

大阪の皆様、初めまして、
富田 晋(トミタ シン)と申します。
大阪で『Marines Go Home』のロードショーが行われる
と聞きました。私自身、本編の方に
出させていただいています。

私は東京出身の21歳です。16歳の時、
高校を下ロップアウトして沖縄に移住
して行くまで、「沖縄」について何も知
りませんでした。

「基地があるから仕事がある」という
明らかに間違った仕事のあり方の押し
付け。米軍犯罪・性犯罪。米軍ヘリの
墜落。戦争被害・加害の押し付け。
知らなかった自分を責めました。
しかし、責めてばかりではどうにも
ならない。行動しようと考えました。
そんな時です、ジユゴン(日本では

沖縄に100頭だけと言われ、天然
記念物。辺野古に生息)を見たのは。
あの真っ青なコバルトブルーの海を
ジユゴンが悠々と泳いでいました。感動
しました。今でもまぶたの裏にその時
のことが焼きついています。

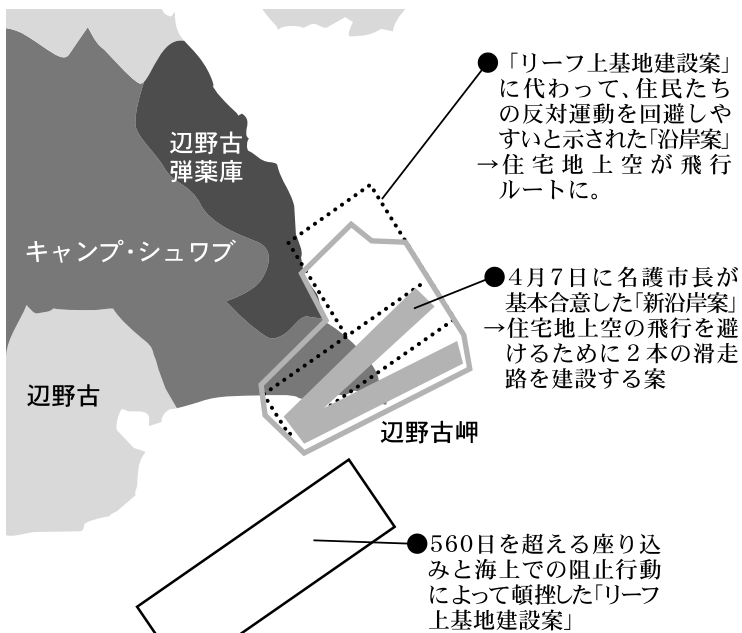
それから辺野古に行きました。
おばあがたたくさん話してくれました。
おばあ(森の話)は映画の中で
私自身がしゃべっているのを略します。
それから私は共に生きて、共に闘
つて、基地建設を止めたいと考えま
した。そして、私たちの手で基地建設
も戦争も止めることが出来るとい
うことを知りました。

辺野古で誇りを持ち、自分らしく
生きて良いということを教えられ
ました。
それは、学校では教えてくれなか
ったことです。

それから2年後、政府は、辺野古
の80代、90代のおばあ、おじい
の声を無視して基地建設の強行を開始
しました。2003年の4月のこと
でした。

私は必死でした。今まで沖縄戦を
経験し、沖縄の現実を背負い、それ
を変えようと闘ってきたおばあ、おじ
い達もまた、基地建設を止めるため
に座っている。

私自身がこの現実を変えなければ
いけない。おばあ、おじいに座らせる
のではなくて私達、若者が座らな
ければと。
93歳のヨシおばあは口癖のように
「基地建設が始まったらわたーや
海に座るさ」と言います。
私はそれを聞いた時からおばあ達
の思いを私達が受け継いで座ろうと
考えました。そして基地建設を止める



「リーフ上基地建設案」
に代わって、住民たち
の反対運動を回避しや
すいと示された「沿岸案」
→住宅地上空が飛行
ルートに。

4月7日に名護市長が
基本合意した「新沿岸案」
→住宅地上空の飛行を避
けるために2本の滑走
路を建設する案

560日を超える座り込
みと海上での阻止行動
によって頓挫した「リーフ
上基地建設案」

ために船の免許をとりました。
2004年9月、海上での調査が始
まつてから2日後、私は海に出る決意
を固めました。

海での攻防は大変なものでした。
ヤグラに登っている4人、5人に対し
て作業員20人、40人。震える足をお
さえて止めに入っていました。
海岸で待っているおばあ達と全国
からの応援メッセージが僕の支えで
した。

2004年12月、命がけの攻防を
見て、沖縄中の海人漁民が応援の
ために辺野古に集まりました。
今でも忘れません。その光景を。
日本中で辺野古の闘いが広がって
いきました。

大阪にも元気に頑張っている人達
を知っています。その名も「辺野古に
基地を絶対つくらせない大阪行動」。
気になったらぜひ参加してください。
毎日の海上での阻止行動が少し

ずつ、実を結び始めたのです。島中に、
日本中に、世界中に。本当にうれし
かったです。

そして、全ての作業を止めました。
人に訴えかけると「国策は止めら
れないのよ」と捨て台詞を何度も
吐かれました。政府も「国策は動か
せないのだ」と豪語しました。しかし、
2005年10月末、政府が「リーフ
上基地建設案 白紙」と発表。一つ
の勝利を掴み取ったのです。

海上にいたった40人、50人、
それに繋がる多くの人の力が国策
をも動かす力となっていきました。
おばあ(森)の言っていたことは本当
でした。

「森は蘇る」。あなたの力は繋がれば
戦争も止められる。
しかし、辺野古は、「喜・憂」できない
状況にあります。政府と名護市長

が「新沿岸案」に合意しています。
名護市長は「沿岸案反対」を打ち出
して当選した市長です。市長は名護
市民への裏切りと共に政府の奴隷に
なることを選びました。

基地建設も全ては「仕事と金を
守るため」として政府に動かされて
います。皆さん、私達は現在の社会と
闘わなければ生きていけない時代
が来ています。

私達が真に守るべきものは自分
らしく生きられる場であり、仕事
であり、そのための格差のない平等
であり、戦争のない子ども達の未来
です。

しかし、それを破壊して一部の
人間の金を守るためだけに戦争を
しようとしている人達がいます。
基地建設はその第一歩なのです。
ここからが正念場です。大阪の皆
さん、基地建設を止めるために共
に行動しましょう！



座り込みをはじめ
辺野古の闘いは
継続中です。



人殺しの基地は いらない